

資料 2-5  
科学技術・学術審議会人材委員会  
ポストドクター等の雇用に関する小委員会  
(第1回)  
令和元年11月18日

2011.11.18

人材委員会ポストドクター等における小委員会



TOHOKU  
UNIVERSITY

# 東北大学における若手研究者の 育成・キャリア支援の取り組み

東北大学 理事・副学長(研究担当)  
早坂忠裕

## (現状)

### 教員・研究者数

- 3,127 (教授:881、准教授:739、講師:193、助教:1,163、助手:151)
- 39歳以下の任期付助教(承継枠外):308 (承継枠内:430)  
(助教のうち、39歳以下の割合:63%)
- 39歳以下の学術研究員:159

## (育成支援事例)

(1) 学際科学フロンティア研究所

(2) 科学技術人材育成コンソーシアムの構築事業

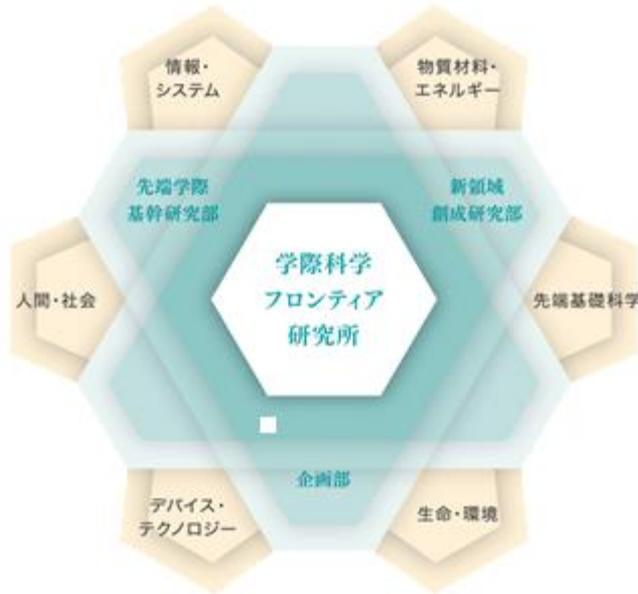
「連携型博士研究人材総合システムの構築」

(北海道大学・東北大学・名古屋大学)

**目的：**異分野融合による学際的研究を開拓し、そして推進するとともに、各研究科・各附置研究所および国際高等研究教育院との連携を通じて、**若手研究者の研究を支援することにより**、新たな知と価値を創出し、人類社会の発展に貢献することを目指す。



## 研究領域と構成員



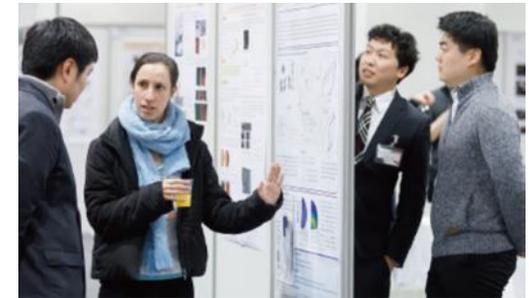
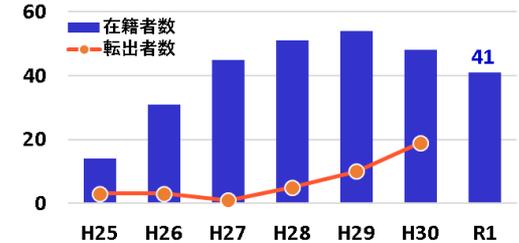
## 学際研の活動



- 文理の学問分野を包含した **6 研究領域**
- シニア教員からなる先端学際基幹研究部・企画部と、**若手教員からなる新領域創成研究部**

1. 先端的学際研究の推進
2. 全学の学際研究の発掘と支援
3. **新領域創成研究部の若手研究者の育成**

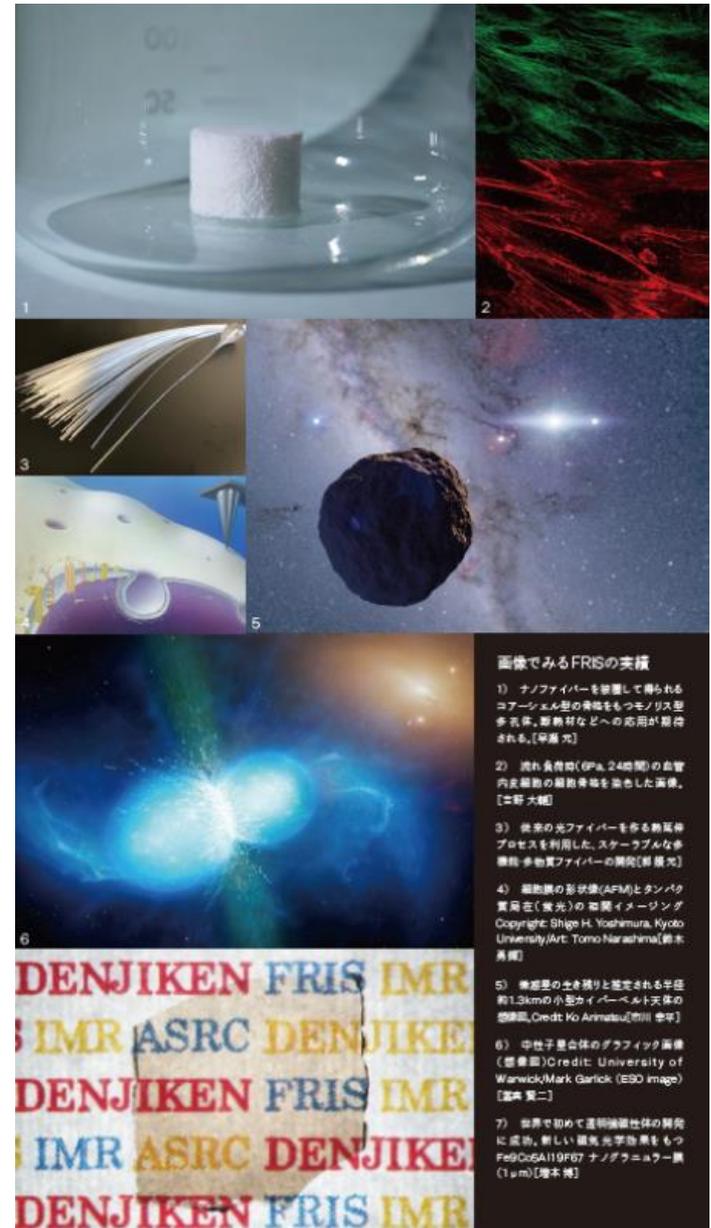
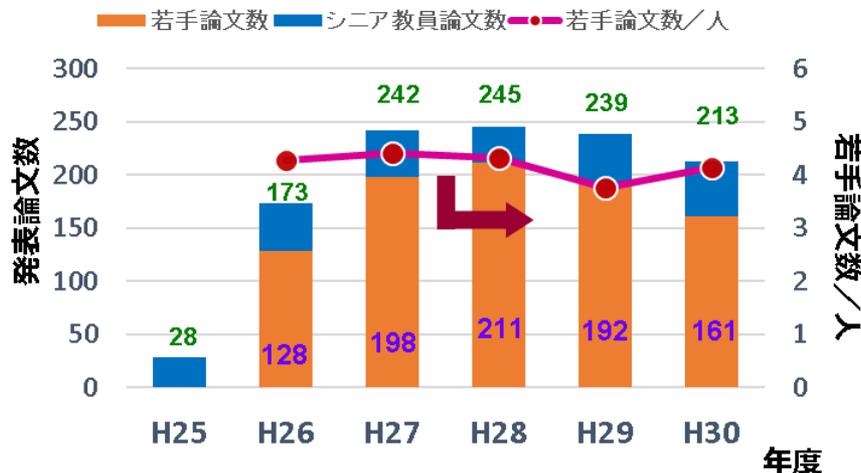
- 国際公募により任期付き助教を毎年10名程度採用 (通算77名、海外からの日本人17名、外国人12名、着任時平均年齢31歳)
- 基本的に任期5年 (+2年の延長有り)
- 学内メンターによる支援と**独立した研究環境**を提供
- 年間 **250万円**の研究費 (3年目まで、以後減額)
- 異分野研究者交流の機会 (Hub meeting (毎月)、合宿 (毎年) 等)
- 国際研究活動の支援



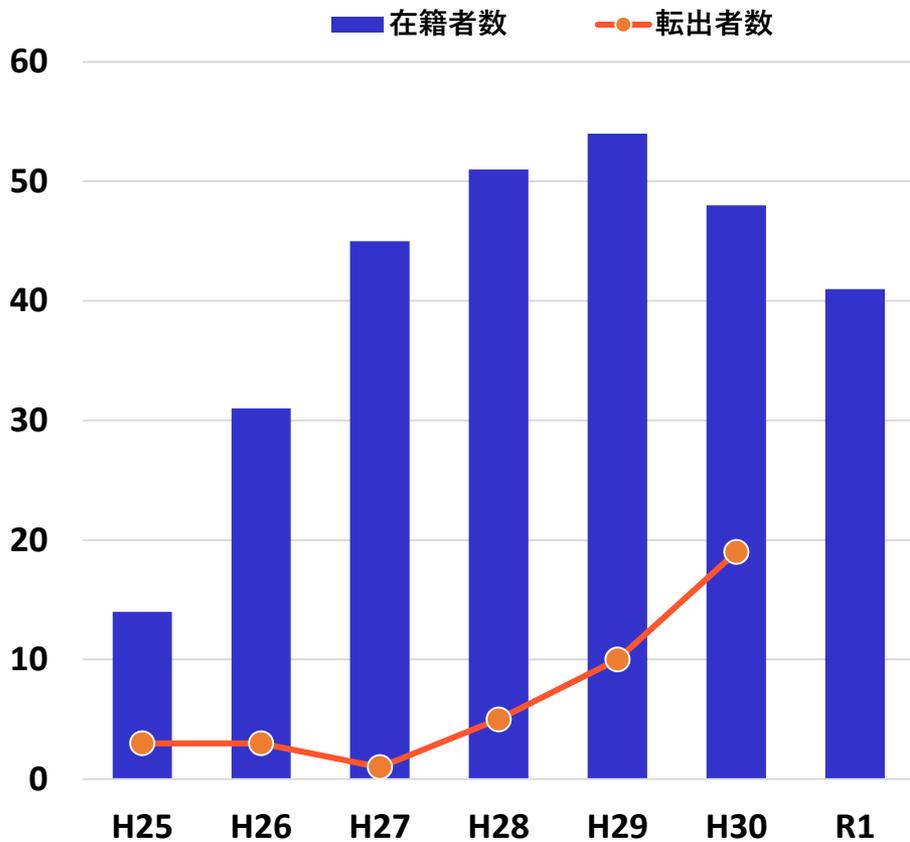
■ 全領域交流会 ■ 研究所セミナー ■ 講演会・シンポジウム等



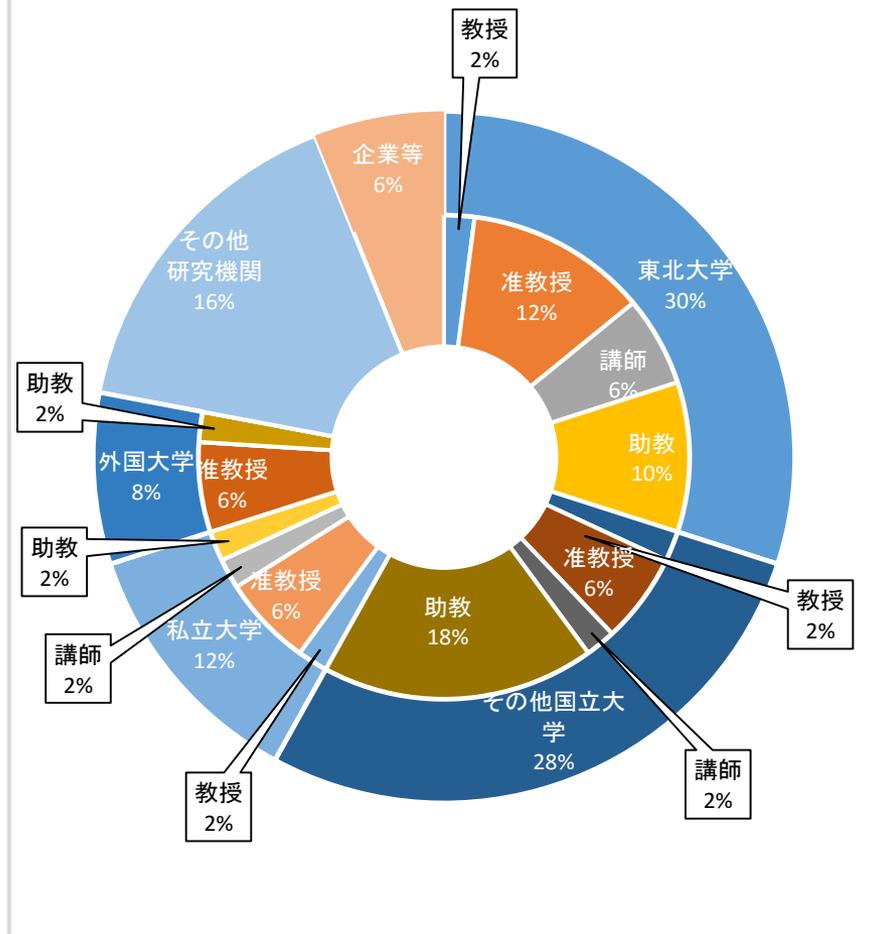
- 平成30年度所属若手研究者の論文平均FWCI 1.6
- 設立以来、7名が科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞
- 平成30年発表論文総数 213報、若手研究者一人あたり4.13報
- 若手研究者が主体的に関わる研究イベント 23件（平成30年度）



新領域創成研究部若手教員の在籍者数と転出者数



転出先割合





科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業

## 連携型博士研究人材 総合育成システムの構築 次世代研究者育成プログラム

平成2014～2018年度(その後、自主財源で2021年度まで)

- 3機関の連携によるコンソーシアムをプラットフォームとした「実践的次世代研究人材育成システム」を構築する。
- 育成対象者に、6ヶ月以上の国内外での研修を経験させる。
- 育成対象者のうち30%以上が、その育成期間が終了する以前（5年以内）に次のポジションを得るようにする。



## 人材育成コンソーシアムの構築

助教が共通のプラットフォームで3大学内の機器を利用できるようルール化

北海道大学グローバル  
ファシリティセンター

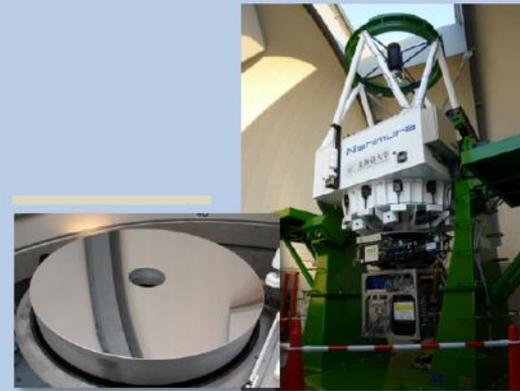
3大学共用機器利用  
プラットフォーム

東北大学  
テクニカル  
サポートセンター

名古屋大学  
設備・機器  
共用推進室

第1回 3大学共用機器担当者意見交換会 開催  
(平成29年11月30日)

東北大助教→北大研究機器



ピリカ望遠鏡  
1600mm  
(光学赤外線天体望遠鏡)  
北海道大学

〈第1回観測〉  
9月18日～27日  
〈第2回観測〉  
3月19日～31日

学会で発表  
○日本天文学会2018年秋季年会

北大助教→名大研究機器

物質科学  
国際研究センター  
化学測定機器室  
質量測定装置(MALDI-TOF/MS)  
名古屋大学



各種学会等で発表  
○第59回高圧討論会  
○日本鉱物科学会2018年年会  
○2018年度日本地球化学会  
○日本地球惑星科学連合2018年大会

+北大助教  
名大機器  
利用申請中

## 異分野間でのグループディスカッションを通じた連携構築の促進



自分一人の知識では成し遂げられないような学際的研究

＜選出された6テーマ＞

- 1) 伝統的な集落におけるサステイナブルな地域モデル研究
- 2) グラフ理論による婚姻ネットワークの定量化
- 3) 単細胞生物に学ぶ多細胞コミュニティ
- 4) 未知とのコミュニケーション
- 5) 天文学と古典
- 6) 氷の天体内部の海に生命活動の痕跡を探す

H30年度合宿から生まれたテーマで1件科研費申請中！！

2016年度合宿：

イノベーション創出にむけた若手  
研究者討論会

卓越した研究者

- ・独創性
- ・教育者
- ・グラント獲得
- ・プロダクティビティー
- ・国際的な視点



2017年度合宿：

異分野連携にむけた若手研究者討論会

ブレイクスルーの加速

高度に専門化・細分化された研究領域

異分野間で課題を共有

新たな研究分野の創出

競合のないフロンティアを開拓

異分野に対する理解・異なる視点の導入



- 優秀な博士課程大学院生の確保
  - 経済的支援(欧米では授業料以外に400万円程度支給)
  - 大型研究プロジェクトでは博士課程大学院生を研究者として処遇
  - 博士課程修了後のキャリアパス(ドイツでは博士保有者の7割が大学以外で活躍)
- 若手研究者の評価のあり方
  - 本当に優秀な人材の見極め(論文数だけでない多様な評価)
  - グループリーダーとしての資質、マネジメント能力等
- 若手研究者の支援のあり方
  - 適切な研究費と研究環境の提供
  - 優秀な若手研究者には異分野交流の場を提供
  - 国際共同研究の奨励
- 若手研究者のキャリアパス
  - 大学、国の研究所、企業、国際機関等の間での異動
  - 大学だけでなく、産業界や社会全体での意識改革

○優秀な学生が博士取得をめざし、博士取得者が社会の多様な分野で活躍できる人材循環システムの構築が重要！

○学部学生から見たときに博士取得とその先のキャリアパスが魅力的であること！